



す

すがた
姿にも

きひん
気品あふれる

めいば
名馬花鳥号

明治九年、明治天皇が東北巡幸のさいに野辺地に立ち寄りました。その時、天皇の愛馬の花鳥号が亡くなり、なきがらを常光寺に埋葬しました。彫刻家伊藤國男氏によって作られた気品高く美しい馬「花鳥号」の銅像が一九二九年に愛宕公園にたてられました。

めいば
名馬花鳥号



せ

せいさんだか
生産高

にほんいち
日本一をめざす

のへた
野辺地のこかぶ

野辺地の特産物「こかぶ」はヤマセの気候にはぐくまれ、やわらかくてあまみがあり味がよいこかぶです。漬物や煮物にして食べます。葉もきめこまやかで、漬物やおひたしにします。「野辺地のこかぶ」を日本一おいしいこかぶにと生産者のみなさんが頑張っています。

こかぶ



そ

そ
その昔

たび
旅のしるべの

いちりづか
一里塚

野辺地の一里塚は長者久保から下町へいたる昔の街道にあります。土をもった塚は直径が九メートル、高さが二・二メートルです。街道をはさんで二つの塚があります。旅人への目印となり、歩いた距離がわかり、木陰で食事をしたり一休みします。旅人は次の一里塚をめざして歩きます。

いちりづか
一里塚（県史跡）



た

たくぼく
啄木と

ゆかり
縁の深い

じょうこうじ
常光寺

石川啄木は若手県日戸村の常光寺に生まれました。野辺地の常光寺とは名前も同じ兄弟寺です。野辺地の常光寺の住職は啄木の叔父さんで、啄木のお父さんもいたことがあります。啄木は、叔父やお父さんに会うために常光寺に立ち寄っています。

じょうこうじ
常光寺